

令和5年「市民と議会のわがまちトーク」報告書

開催日時	令和5年4月23日(日) 午前10時から11時35分まで
開催場所	中総合会館 4階ホール
テーマ	若者の地元就職を促す取組について
参加市民	24人
出席議員	<u>担当委員会：産業建設委員会</u> 高橋秀策、今西克己、上野修身、肝付隆治、眞下弘明、南正弘 <u>サポート委員会：福祉健康委員会</u> 水嶋一明、眞下隆史、川口孝文、小杉悦子、小谷繁雄、廣瀬昇

内 容

【全体概要】

若者の地元就職を促す取組について、高校等を卒業した就職を希望する若者が、市内で働いてもらうにはどうすればよいか、また、都会へ出ていた若者が舞鶴へ帰ってきてもらうためには、どのような手法が有効かなどについて、5つのグループに分かれて意見交換を行った。

さらなる地元就職・UIJ ターン就職の推進が重要であることから、課題解決策となる案を取りまとめ、最後に各グループから意見交換の内容を発表した。

【各グループの意見交換の内容】

1班

担当議員：(副委員長) 今西克己
市民参加者人数：4人



【出された課題の主なもの】

(1) 集い・交流について

- ・ 若者が集まれる場所が少ないので、多様な人たちと交流ができない。
- ・ 大学がないので、まちに活気がない。
- ・ 地域との交流の場が少ないので、情報交換ができない。
- ・ 大人数で気楽に集える場所が少ない。
- ・ 子どもへ地元の魅力を伝える場と機会が少ない。
- ・ 駅近くに自習室や勉強できるスペースがない。

(2) 環境面について

- ・ 舞鶴には遊ぶ場所が少ないので、地元に残ろうとは思わない。
- ・ 若者が働く場所が少ない。
- ・ 流行の店がないので、都会に出ていく。
- ・ 大きな企業が少なく、職業を選択できない。
- ・ 交通が不便なので、活動が制限される。

(3) 舞鶴市としてのキャパシティについて

- ・ 西舞鶴駅周辺の施設が昔のままである。
- ・ マリンスポーツの開催がない。
- ・ 大きな多目的複合施設がない。

- ・ 娯楽施設の誘致ができていない。
- ・ 体験型アスレチックを楽しめる場所がない。

【検討事項と対策】

以上3点の課題をもとに検討し、対策を議論した結果、大きく次のような対策が必要であると集約することができた。

(1) 集い・交流について

- ・ 東・西舞鶴駅近くに若者が集える場所をつくり、勉強や交流ができるスペースを整え、次代を築く若者に舞鶴の魅力をより多く伝えていく。

(2) 環境面について

- ・ 舞鶴には若者が遊べる施設等がないので、娯楽施設を誘致して活気のあるまちづくりをする。
- ・ 介護・福祉に関するものばかりでなく、子育てに関する施策の充実を図る。

(3) 舞鶴市としてのキャパシティについて

- ・ 舞鶴市の産業の基礎である工業団地の再開発がなければ将来はない。大企業を誘致することによって、職業の選択、就業の機会を増やす。
- ・ 第一次産業の魅力を発信して、田舎でも働ける環境づくりをする。
- ・ 将来舞鶴に戻り、働こうと思う人たちに対する助成を行う。

2班

担当議員：(委員) 上野修身

市民参加者人数：5人

【出された課題の主なもの】

- (1) 希望する企業の選択肢が少ない。
- (2) 地元企業は、賃金が安いように思う。
- (3) 都会へのアクセスが悪い。(特に JR)
- (4) 若者の遊ぶ場がない。

【検討事項と対策】

- (1) 希望する企業の選択肢が少ない。
 - ・ 海の利点を生かした企業の誘致に取り組む。
 - (2) 地元企業は賃金が安いように思う。
 - ・ Uターン就職した学生に対する支援策を行う。
 - (3) 都会へのアクセスが悪い。(特に JR)
 - ・ 山陰新幹線の誘致などにより、JRの交通アクセスをよくする。
 - (4) 若者の遊ぶ場がない。
 - ・ 舞鶴市単独ではなく、京都府北部5市2町が連携をして、若者の遊び場を提供する。
 - ・ まちフェスを復活させる。
- ※ 一度市外へ出た学生が舞鶴に帰りたいたいと思えるまちづくりを行う。



3班

担当議員：(委員) 肝付隆治

市民参加者人数：5人

【出された課題の主なもの】

(1) 舞鶴市の住環境整備及び魅力化対策について

- ・ 公共交通の充実
舞鶴は広く、公共交通が限られているので、自動車やバイクが必要。
- ・ 子育て支援
若者の収入は一般的に少なく、費用面だけではなく多様な子育ての支援が必要。
- ・ 職種・職場の増加
若者が好むような職域と職場が少ない。特に女性の働く場が少なくなっている。
- ・ 遊興施設の充実
若者が好むような遊興施設が少ない。
- ・ 著名店舗の誘致
スターバックスやマクドナルドなど若者が行きたい店舗が少ない。
- ・ 大学の誘致
若者の市内就職の増加につながる大学が少ない。
- ・ 住居支援
若年単身者が居住できる安価な住まいが少ない。
- ・ 医療機関の充実
医療機関の今後の衰退が心配。

(2) 企業の情報提供と市の広報について

- ・ 企業の年収が分からない。
大まかでも企業の年収が分かる情報が得にくい。
- ・ 企業の就業状況が分からない。
会社内の状況について、同年齢層や就職している人との情報交換の機会が少ない。
- ・ 舞鶴市の状況が分からない。
舞鶴市の現状や将来など住み続けられるまちか、広報が少ない。

(3) 企業の対策について

- ・ 企業の採用人数が少ない。
そもそも若者が就職したい企業の採用人数が少ない。
- ・ 年収が低い。
京都府南部の都市と比較して年収が低い。
- ・ 企業のイメージがよくない。
舞鶴市のものづくり産業のイメージが、汚れ仕事のイメージである。
- ・ 若者の就職後の定着率が低い。
技術職や専門職としての教育がやりにくくなっており、厳しく教育するとすぐにパワハラと受けとられ、辞めてしまう。



【検討事項と対策】

(1) 舞鶴市の住環境整備及び魅力化対策について

公共交通の充実などの住環境整備と舞鶴市自体の魅力化対策は、若者だけではなく移住定住の共通の課題であり、特に若者の視点を勘案した対策が必要と思われる。

若者が住みたくなるようなまちとして遊興施設や著名店舗の誘致に取り組み、福知山のように京都府北部1号店ができる市になることを望んでいる。

また、若い女性が働ける職場が少なく、人口増加には若い女性の増加が必要であり、舞鶴医療センターの看護学校の廃止は、この面で大きな痛手となる。

(2) 企業の情報提供と舞鶴市の広報について

会社の事業内容や業績などについては、ホームページや市の広報などでも分かるが、実際の会社の雰囲気や活力のようなことは、働いている人の意見を聞かないと分からない。

こういった方面の情報提供や意見交換の場をさらに設けることが必要と思われる。

また、舞鶴市のPRについて、市のホームページは文字が多く分かりづらい。

若者は、Instagramの利用者が多く、目で見て分かりやすいホームページになるよう舞鶴高専とのコラボが有効ではとの意見があった。

(3) 企業の対策について

企業の持つイメージは、社名や会社の外観に大きく影響されるが、市内の工場は、外観があまりきれいではなく、仕事がきつく汚いイメージになっている。

外観の塗装や形状で随分とイメージが変わるので企業任せでなく市としても何らかのコンセプトを考え、イメージがよくなる外観について企業と検討すべきと思われる。

また、年収は将来に向かっての子育ての方針を決める大きな要因となるので、安心して子育てができるような年収の企業を増やすことは若者の定着の大きな要因となっている。

そのほか、ものづくり産業の就職後の定着率が低く、行政としても検討が必要と思われる。

※舞鶴高専の活用について

舞鶴高専は全国から応募のある学校であり、近隣市町村だけでなく、他府県の中学校に積極的に広報し、卒業後に市内就職する場合の一定の支援策を検討してはどうかとの意見があった。

4班

担当議員：(委員) 眞下弘明

市民参加者人数：5人

【出された課題の主なもの】

(1) 企業に関するもの

- ・ 市内の就職先が少ない。
- ・ 市内企業のアプローチ不足。
- ・ 就職者と在舞企業とのマッチングが上手くいっていない。



(2) 環境に関するもの

- ・ 遊ぶ場所が少ない。
- ・ 利便性が悪い。
- ・ 若者のコミュニティが少ない、
- ・ 若い人にとって刺激のある場所が少ない。
- ・ 趣味をする場所が少ない。

(3) 魅力に関するもの

- ・ 舞鶴に残る友達が少ない。

【検討事項と対策】

(1) 企業に関するもの

- ・ 就職希望者に対する地元企業のアピールを支援する。
- ・ 高校生、大学生を対象に市内企業でのインターンシップを実施する。

(2) 環境に関するもの

- ・ 舞鶴の豊かな自然を生かし、野外や自然の中で遊べる場所を充実させる。

(3) 魅力に関するもの

- ・ 舞鶴で育った子どもたちが、大人になり帰ってくる選択肢が持てるよう、小さい頃から舞鶴の良さを知ってもらえるような機会を創出する。
- ・ 新しい価値観を生む教育を提供する。

5班

担当議員：(委員) 南正弘

市民参加者人数：5人

【出された課題の主なもの】

- (1) 若者が気軽に集まれる場所がない。
- (2) 市内の企業に関する情報発信が不十分で必要な情報が得られない。
(HPを見ても文字が多すぎて分からない。)
- (3) JRやバス等の公共交通について、交通の便が悪い。(利用したい時間帯に運行本数が少ない。)
- (4) 舞鶴の魅力が分からない。



【検討事項と対策】

(1) 若者が気軽に集まれる場所がない。

- ・ 若者が気軽に集まれる場所(マクドナルド、ラウンドワン、スターバックス等)をつくる。西舞鶴駅東口に建設予定の中央図書館内に、若者が集まれるスペースをつくる。
- ・ 商店街の閉まっている店を再活用する。

(2) 市内の企業に関する情報発信が不十分で必要な情報が得られない。

- ・ 企業の分かりやすいPRの実施。若者に関心を持ってもらうため、インスタグラムなどを活用する。

(3) JRやバス等の公共交通について、交通の便が悪い。

- ・ 規則や規制はあると思うが、個人タクシーや小型巡回バスを導入する。

(4) 舞鶴の魅力が分からない。

- ・ 舞鶴にも良いところがたくさんあるが、点でとまっているので、速やかに線そして面へと広げていく必要がある。



【意見交換の結果の取り扱い方針】

各班の意見交換会の結果について、委員会で調査・議論を行い、市政への反映に向けて検討していく。